

団体名	一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム						
事業名	地域連携PBL型外国人留学生プログラム						
実施期間	2023年12月9・17日						
場所	草津市市内（草津宿本陣、草津川、草津市商工会議所、立命館大学など）						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	19	9	25	65	33	0	151名

### <実施内容>

本プログラムの特徴は「講義」「フィールドワーク」「プレゼン・意見交換」で構成される点にある。第1回「草津市を理解する」では講義形式で歴史・地理的特性・交通の変遷を理解する。第2回「草津市を体感する・未来を語る」ではフィールドワークで現地訪問し、留学生・地域住民・行政によるプレゼン・意見交換をする。以上を通じて多角的に地域を理解するとともに地域とのネットワークを構築する。	日程・プログラムカテゴリー	プログラムコンテンツ	場所	
	12月9日 (土)	草津市を理解する。 (講義)	① オープニング、オリエンテーション ・プログラム概要、獲得目標、協力団体等 草津市について ② 草津市概要、特徴、課題、宿場町、外国人状況、天井川、町整備など 草津市を深掘りしてみよう「宿場町草津」 ③ 江戸時代の繁栄期、主要交通網としての街道、交通網の変化と宿場町、宿場町の現状（市民活動連携を絡ませて）など 本プログラムでの考察・提案について ④ 歴史的、地理的資源や人的ネットワークの活用、新たな取り組みの提案、発表資料作成および発表方法	商工会議所会議室
		草津市を体感する。 (フィールドワーク)	フィールドワーク1 ・草津小市（浄教寺など草津駅周辺イベント）参加 フィールドワーク2 ・草津宿本陣、草津宿街道交流館見学 ⑤ フィールドワーク3 ・ボランティア協会による草津宿案内 ボランティア団体紹介・交流 ・青春歌声シャボン玉（謝礼なし）、おみやげラボ（謝礼あり）	草津駅周辺 キラリ工草津5階会議場
	12月17日 (日)	草津市を体感する。 (フィールドワーク)	⑥ 情報交換会（立食形式） ⑦ オリエンテーション（バス移動含む） ・プログラム概要、獲得目標、協力団体等 草津川跡地公園見学1 De 英広場 ⑧ 草津川跡地公園見学2 Ai 彰広場 ⑨ KIFA 多文化交流会参加（情報交換、交流） ⑩ 留学生プレゼンテーション、意見交換 ⑪ クロージング	旧草津川 立命館大学 ローム記念館 3Fホール

### <記録写真>



写真1の説明



多文化交流会



留学生プレゼンテーション

### <参加者からのコメント>

I think this event was very good. By joining this event, I could learn about Kusatsu City's history, facilities provided by Kusatsu City and some organizations in Kusatsu City. I could also make a connection with various people, I am really glad to take part in this event. However, I am a little bit disappointed that there were so many students that suddenly did not come at the event. I hope that in the future there will be more students take part in this event and show their commitment. Anyways, thank you very much for holding this event. I really enjoyed this event.	Thank you very much for organizing such an event, it was a wonderful experience. For the future I would like to make some suggestions. I think the number of participants should be increased and should arrange something to increase the participation of both international and local students. Also we can reserve more time for field visit and may combine lectures on site instead of having it inside a room since it will be efficient. Because I felt like the time was not enough for me to explore the city and come up with good solutions. If possible extending it to 3 day program will also be very useful.
--	--

### 英語名称（英語版作成用）

団体名	Pan-Biwako Universities and Regional Consortium
事業名	Regional Problem-Based Learning (PBL) Program for International Students